

機械加工品事業

超高品質製品を中心とした
構造的需要増と圧倒的競争力で、
力強い成長

専務執行役員
機械加工品事業本部長
水間 聡



コア・コンピタンス

当社のDNAともいえる超精密加工、垂直統合、グローバル展開、大量生産といった根源的な強さにより、圧倒的な市場シェアと高水準のQCDESS[®]*が確立されています。当社はいち早く海外展開をはかり、部品や設備の内製/保全能力も強化することで超高品質と低コストの両立を果たしました。設備投資の額では測定できない、長年にわたるノウハウの蓄積が参入障壁を形成し、競合メーカーによる参入を事実上不可能にしています。

*Quality (品質)、Cost (価格)、Delivery (納期)、Eco (環境)/Efficiency (効率)、Service (サービス)、Speed (スピード) の略



タイ パンバイン工場

機会

- 最終製品のエネルギー効率化やダウンサイジングに貢献する高品質ベアリング全般の需要増加。
- 自動車の電装化、EV化を背景とする1台当たりベアリング使用数量の増加。
- データセンター向けをはじめとする冷却装置向けベアリングの需要増加。
- 航空各社による低燃費高効率エンジンを搭載した新型航空機への転換。

リスク

- 競合各社によるミニチュア・小径ボールベアリング市場への参入意欲の高まり。
- HDD市場の縮小に伴うピボットアッセンブリー販売数量の中長期的な減少トレンド。
- 世界的な旅客需要の低迷による新造航空機の生産レート低下。

機会とリスクへの対応

- ボールベアリングの能力増強を早期に実施し、競争力をさらに強化。
- 航空機向けベアリングの強みをいかしシェアアップをはかる。
- 積極的なM&Aで機械加工品における新たな柱を打ち立てる。
- 製品の精度をさらに引き上げ、顧客に新たな価値を提供。

2022年3月期の概要

主力製品であるミニチュア・小径ボールベアリングは、データセンター向けおよび自動車向けを中心に販売数量が増加し、増収となりました。ロッドエンドベアリングは、航空機関連の需要減により売上高は減少しました。ピボットアッセンブリーは、HDD市場は縮小傾向にあるものの売上高は増加しました。この結果、売上高は1,775億円、営業利益は457億円、営業利益率は25.8%となりました。

2023年3月期の見通し

ボールベアリングは自動車向け、データセンター向けを中心とした幅広い用途において、力強く需要が増加しています。ロッドエンド・ファスナーを含む航空機向けビジネスは、下半期から徐々に回復していく前提としています。ピボットアッセンブリーはHDD市場の縮小に伴う需要減少を見込んでいます。

中期事業計画

ボールベアリングの成長に航空機の回復が上乗せ

主なポイント

- 1 ボールベアリング 販売
自動車、データセンターを筆頭に
中長期での成長が継続
- 2 ボールベアリング 生産
月産 370 百万個 + αの体制を確立へ
- 3 ロッドエンド・ファスナー
プッシュからプルへの転換で体質強化

次の10年を見据えた基本戦略

機械加工品事業は、当社創業以来のコア事業として安定的かつ永続的な成長を維持するとともに、ポートフォリオを拡充することで成長領域を最大化することが基本戦略となります。そのために、すでに市場で圧倒的な競争優位性を誇るミニチュア・小径ボールベアリングをさらに強化するとともに、新技術の獲得やポートフォリオの拡充等を目的とする積極的なM&Aを通して、収益基盤をさらに強固にすることに取り組んでいます。

『「相合力」でオンリーワンを目指す』戦略

当社が世界シェア60%以上を持つミニチュア・小径ボールベアリングは、小型で精密なモーターをはじめ回転したり動いたりする機器に使用されます。より摩擦抵抗の低いボールベアリングを使用することで回転が滑らかになるため、モーターの消費電力の削減において重要な役割を果たします。

ボールベアリングはモーターの回転効率を決定する重要な部品であり、ボールベアリングとモーターの相合で他社との違いを生み出す源泉になっています。加えて、当社では航空機向けベアリング、セラミックベアリング、超高速回転ベアリングなど特殊なベアリングのラインナップもそろえ、あらゆるお客様のニーズにお応えし世界の消費電力低減に貢献してまいります。今後のさらなる成長のキーとなるのは「エコ」です。その一環で現在取り組んでいる事例の一つとして、精度を3倍に高めたボールベアリングがあります。これはモーターでの回転時のロスを極限まで減らす超精密ベアリングで、サーバーのファンをはじめさまざまなモーターに搭載していただくことで世界のCO₂削減に貢献することができます。



精度 3 倍ベアリング

社会的課題解決製品の開発と部品供給

世界がCO₂排出量ネットゼロの実現に向けた取り組みを進める中、航空宇宙産業は高効率で低燃費な航空機の開発や脱炭素化に向けた燃料の開発など、さまざまな課題に直面しています。このような課題に対して、当社では「低燃費」「省エネ」「電動化」「軽量素材」といった観点からさまざまな新製品をお客様にご提案し、航空宇宙産業の持続的な成長に向けて取り組んでいます。

例えば、現在主流となっている中小型航空機向けに、従来のロッドエンド・スフェリカルベアリングに加え、高効率・低燃費エンジン用シールといった製品を納入しています。そのほか、ホイール内にモーターを組み込んだ新機能ランディングギア向けセラミックベアリングの開発に取り組んでいます。航空機のランディングギアを電動による自走式にすることで地上待機時間を最適化し、CO₂排出量削減にも貢献することができます。

今後も、事業の成長を通して気候変動リスクの軽減に貢献してまいります。

ミネベアミツミの新たな成長軸 P.25-26



低燃費エンジン



新機能ランディングギア